



学校だより

令和2年度 1月号

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年四月、コロナ禍で日常の教育活動が完全に停止した中での着任でしたが、保護者の皆さま、地域の皆様のご理解と支えをいただきながら、再開に向け取り組むことができました。

四月当初の段階では、緊急事態宣言が出され再開のめどすら立たない状況でしたが、「できることから取り組んでみよう」という思いでオンラインによる「朝の会」を高等部から開始し、小学部、中学部でも順次取り組み、そして、近隣の小中学校や県立支援学校に先駆け、五月末からの分散登校、六月からの学校再開と順調に実施できたのも、保護者の皆さまのご理解とご協力があったからこそできたことであり、あらためて御礼申し上げます。

さて、県内の新規感染者数は増加傾向にあり、全国的には首都圏を中心に緊急事態宣言が新たに発令されることとなりました。隣接する大阪府では医療崩壊の危機的状況にあるといわれております。学校では感染症対策を講じつつ通常の教育活動を進め、子どもたちの健やかな学びの環境設定に取り組んできましたが、感染症への対応が長期化することが想定される中、より一層の感染対策の徹底と教育活動の充実の両立をめざしたいと考えております。

しかし、このような取組を徹底していても、だれもが感染する可能性がありリスクをゼロにすることはできないことから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多いと思います。すでに県内の小・中学校や県立学校でも感染者が出ているようですが、この局面で大切なのが保健所の指導のもと冷静に対応し、衛生管理を徹底することと、感染した児童生徒や教職員に対する差別や偏見、誹謗中傷をしないということです。自分自身が差別等を行わないということだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い、悪口を言う」など、身の周りに差別や偏見につながる発言や行動があったときには、それに同調しないようお願いいたします。このようなやさしさは感染症対策として非常に大切な取組です。今後もし、本校においても感染者や濃厚接触者がでて、このような人権に配慮した対応を大切にしつつ、保護者の皆さまに状況報告と対応策の連絡に努めたいと考えております。

三学期には、ふよう会行事の「はたちを祝う会」や各学部のお別れ遠足、そして、卒業式と重要な行事や式典が控えております。それぞれの主旨を大切にしつつ、感染症対策の徹底を図っていきたいと考えています。

校長 武内 正晴

◆保護者の皆様へのお知らせ

毎朝の検温など、新型コロナウイルス感染症に対する日々の感染対策にご協力いただき、ありがとうございます。3学期も引き続き、マスクの着用、手洗い、3密を避けるなど、感染防止に努めてまいります。

1月の行事予定

7 (木) 始業式 11:30 下校	20 (水) 入学予定者説明会・制服採寸
14 (木) 新年の会 (中学部)	28 (木) 熊野古道ウォーク (高等部Sコース)

◆1月の保健行事

体重測定・12日 (火) 高等部 13 (水) 小中学部

◆1月の育友会

18日 (月) 役員会 26 (火) 保体部会

◆1月の同窓会・ふよう会 (卒業生・卒業生保護者の会)

10日 (日) ふよう会はたちを祝う会 (「ふよう会成人式」から名称が変わりました)